南国市きょうスタート

恵まれた田園都市

人口は県内第二位　今月中に市長、市議選

（後略）高岡郡佐川、仁淀、吾川、土佐、幡多郡須崎の五カ町村と長岡郡の大豊村が合併して、人口約四万四千四百人、人口では県内第二位の市として発足する。これら五カ町村の合併が決まったのは昨年九月末。一カ年の期間を経たわけで、県下では九番目の市。開港日二十六日。

○…新市の庁舎は旧佐川町役場が当てられ、旧町土長福祉園事務所と、隣の旧保健所を使用し、四支所（仁ノ、三和、十市、翠）一出張所（日章）を置き、市民課は二部制をとり、市民課は二部制をとり、香長、後免二カ所に分け、職員は約七十人。

○…職員は約三十人。当初は旧町村単位の小選挙区制をとり、各四人宛三十二人の議員が選ばれていたが、今回は全市一区制で、任期は来年二月末までの一年四カ月。

○…議会は、一般質問が行われた。

○…新市の行政機構は、総務、民生、産業、建設、水道と福祉事務所に分れ、職員は約九十人。

○…議員は約三十人。当初は旧町村単位の小選挙区制をとり、各四人宛三十二人の議員が選ばれていたが、今回は全市一区制で、任期は来年二月末までの一年四カ月。

○…新市の行政機構は、総務、民生、産業、建設、水道と福祉事務所に分れ、職員は約九十人。

○…議会は、一般質問が行われた